

増穂だより



芝浦工業大学柏中学高等学校 〒277-0033 千葉県柏市増尾700番地
TEL : 04-7174-3100(代) FAX : 04-7176-1741
URL <https://www.ka.shibaura-it.ac.jp/>

■編集 / 芝浦工業大学柏中学高等学校 総務部
■発行日 / 令和8年5月2日 発行
■印刷 / 株式会社横浜総合写真



Contents

■ 学年情報 (中学 / 高校)	2P	■ アイスランド研修 / Topics	5P
■ PTA 情報 / 後援部情報	3P	■ 中学 25 期生卒業式 / 2026 年度入学式	6P
■ SSH 報告	4P		

学年情報

中学1年 中学校生活が始まりました！

学年主任

中学校生活が始まりました。毎日早起きして、長い時間をかけて通学するのはとても大変だと思います。それが中学校生活ですから、少しずつ慣れていくことが大切です。

「学校は勉強する場所」「勉強する場所は学校」です。勉強より大切なものはたくさんあるはずです。しかし、自分が満足するレベルの勉強は必ずしなければいけません。両立するためには、全力で授業に取り組むこと。授業だけで頭の中に習ったことを入れることです。そうして、自分の世界を広げていくことです。

保護者のみなさま、まだ慣れない中学校生活に疲れ切っている生徒だとは思いますが、ゆっくり進めていきますので、どうかお子様の「自立」のために、心配な部分を共有しながら、自分でもがんばるようにご配慮お願いいたします。学校の様子は学年通信などでご確認ください。

高校1年 「未来を切り拓く」

学年主任

高校47期生306名がいよいよ高校生活をスタートさせました。ガイダンスや研修では、教務や進路、探究活動などの話以外に、高校3年生の先輩から高校生活の心構えや学習アドバイスも受けました。生きたアドバイスを聞き、生徒たちの表情も一段と引き締まったと思います。また担任との面談では、「今年はいろいろなことにチャレンジしたい、頑張ってみたい」という言葉を多く聞くことができました。

挑戦する志を抱くことは、「未来を切り拓く」を目標とする学年として素晴らしい姿勢だと思います。何事にも積極的に取り組み、試行錯誤を繰り返しながら充実した高校生活を送ってほしいと思います。そして勉強だけでなく部活動や課外活動に本気で挑戦し、未知の世界を広げていってくれることを期待しています。

保護者の皆様におかれましては、引き続き温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

中学2年 新たな仲間と共に

学年主任

春のやわらかな空気の中で新年度が始まりました。2年生になり、生徒たちは、後輩を迎えたことで顔つきや振る舞いに自覚と落ち着きが見られるようになりました。話を聞く姿勢も一段と安定し、主体的に授業前の準備をする姿が増え、学びに向かう雰囲気が着実に高まっています。日々の学校生活の中で、小さな積み重ねを大切にしようとする意識も育ってきています。新しいクラスでも積極的に仲間の輪を広げ、互いに声をかけ合いながら関係を深めています。休み時間にはコモンスペースで明るくにぎやかな声が響き、安心して過ごせる居場所が広がっています。5月には初めての宿泊行事グリーンスクールがあります。芝浦柏創造の森など自然の中での学びに加え、仲間と共に過ごす2泊3日の時間を通して協力や思いやりを深め、互いに支え合いながら大きく成長する貴重な経験となることを願っています。

高校2年 行事を通して、問いを深める一年に

学年主任

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。高校2年生となり、学校生活の中で中心となって動く場面が増えてきます。これまでの経験の中で見出してきた「問い」を、ここからもう一段深めていく時期に入ったと思います。沖縄研修旅行では、歴史や文化、自然に触れる中で、自分なりの問いを持ち、考えを深めてほしいと思います。文化祭や合唱祭でも、主体的に取り組む場面が今まで以上に増えてくるはずです。進路についても、さまざまな選択肢に触れながら、自分の将来を考えていく機会が増えていきます。「何を選ぶのか」「どこまでやるのか」。一つ一つの選択には、それぞれ結果が伴います。その結果を受け止めることも含めて、「自分で選ぶ」ということなのだと思います。「視野は広く、思考は深く」。この姿勢を大切にしながら、それぞれが自分の方向を定めていく一年となることを期待しております。

中学3年 「初心忘るべからず」

学年主任

今年度の学年目標は「初心」です。世阿弥は「己の未熟さを自覚し、常に精進し続けよ」という、おごり高ぶる心への戒めとして「初心忘るべからず」と説きました。中2では自己から「利他」へと言い続けてきました。他者への思いやりを持ち続けるとともに、中3では「慢心を捨てなさい。未熟であるがゆえに失敗はつきもの。失敗を重ねて常に成長してほしい」という願いを込めてこの学年目標にしました。部活動でもそうです。スタメンに入ったことで高慢になった瞬間に成長は止まります。他方、スタメンを目指して努力をする子はシュートを決めると、「先生入った!」と嬉しそうに報告してくれます。そして「次は連続で入れるから見てください!」とゴールに再び向かっていきます。その素直な喜びと一生懸命取り組む姿に成長の原点があります。26期教員団は、その喜びを子供と一緒に味わい、彼らの成長を支えていく1年にしていきます。今年度もよろしくお願いいたします。

高校3年 進路開拓を通じた成長

学年主任

高校3年生としての一年が始まりました。生徒たちはそれぞれの「次のステージ」に向け、進路開拓に本格的に取り組む時期を迎えています。本学年の目標である「個儼不羈」のもと、自らの意思で進路を切り拓く姿勢を大切にします。その過程で重視したいのが、「計画性」と「実行力」です。限られた時間の中で目標を定め、見通しを持って行動し、やり抜く力は、受験にとどまらず今後の人生を支える基盤となります。

また本年度は生徒たちが成人を迎える節目の年でもあります。「受験生である前に一人の成人である」という自覚のもと、主体的に生活を整えることも求められます。

ご家庭での声かけや日々の生活面での支援が大きな力となります。保護者の皆さまには、生徒たちの成長を温かく見守っていただくとともに、引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

P T A 情報

2026年度PTA活動について

PTA会長

本年度のPTA活動について紹介させていただきます、皆さまよろしくお願致します。

まずは中学・高校の新入生並びに保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。また、在校生の保護者の皆様には日頃よりPTA活動にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

昨年度は増穂祭の来校人数が過去最高を記録するなど、盛り上がりを見せる中で、さらに本校の生徒達が充実した学校生活を送るための一助となれるようPTA本部も活動して参りますので、引き続き保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

①PTA活動について

本校のPTAは、会則にもあります「学校と家庭との関係を密接にし、地域社会とも協力して、生徒の正しい成長と学校の発展に資すると共に会員相互の研修親睦を図る」ことを目的として、学校と連携し、生徒の学校生活を支援する活動をおこなっています。保護者の皆様にもぜひPTA活動を通じて学校の雰囲気を直に感じたり、保護者相互の親睦を深めたりしていただきたいと思っております。

②幹事会活動について

PTA活動の中心となるクラス幹事は、クラス保護者会で選出頂きました。それぞれにご事情のあるなかで幹事を引き受けていただいた皆様には、心より感謝申し上げます。

幹事の皆様は、幹事会に出席していただいた際、日頃の生徒達の様子を垣間見ることができ、校長先生から学校の近況報告を聞く機会も得られます。クラス幹事の役割は学校と保護者との橋渡し役、そして芝柏を陰ながら盛り上げていくことです。本年度もクラス幹事を中心として、各クラスの保護者の皆様や教職員の方々、さらにPTA本部役員が連携・協力しながら有意義な活動をしていきたいと思ます。また、学年毎に選任する学年代表の皆様は、PTA役員会にもご参加いただき、各学年の活動報告などを行っていただきます。

③年間行事予定について

主なPTA年間行事を紹介します。

○クラス懇親会の開催(年2回程度)

○増穂祭(文化祭)への各部門出展

○文化講演会の開催

○次年度本部役員の選考・推薦

○私学振興大会への参加

この他に、先生方と保護者の皆様との懇親会を5月と1月の年2回開催を予定していますので、保護者の皆さんの親睦を深めるためにも、ご参加いただければと思います。

④学年幹事会活動について

卒業年度の学年幹事会活動として、中学3年は「巣立ちの会」、高校3年は「卒業を祝う会」を開催しています。これらの企画・準備・運営は、当該学年のクラス幹事の皆様を中心に先生方と連携して活動を行っていただければと思います。

⑤芝柏PTAオリジナル活動の紹介

保護者全員を対象に、希望者ならどなたでも参加できる芝柏オリジナルのPTA活動です。

「仕事塾」

生徒の総合学習・キャリア教育の一環として、年2回開催しています。働くことの楽しさや保護者ご自身の経験を伝えていただき、生徒たちの進路選択の一助となることを目的としています。生徒の身近な人生の先輩として、教室の教壇に立ち様々な職種の保護者の方にお話いただければ幸いです。

「花壇整備活動」

「ぐりんさぼーたあ」通称「ぐりさぼ」として、学校構内の美化活動を月2回程度・土曜日の午前中に行っています。保護者の皆さんの都合の良い時にご参加いただけます。花壇やプランターの整備といった活動を通じて学年を超えた保護者間の交流の場にもなっています。

これらは保護者の皆様が学校に来られる機会が少なく、(特に男性)多くの保護者の方に学校へ来ていただきたいの思いから始まりました。先日保護者会でも活動概要を資料として、さくら連絡網にて配布しておりますので、ぜひご一読いただけます。

最後に本年5月9日開催のPTA総会にて、本年度の本部役員が新たに選任されます。新体制においても協力しながら楽しく活動していきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いたします。

後援部情報

後援部の活動について

後援部副部長

新高校生306名、新中学生190名の皆様、芝浦工業大学柏中学高等学校へのご入学、誠におめでとうございます。保護者並びに関係者の皆様におかれまして、お子様のご成長に感慨もひとしおのことと存じます。本校の理念「創造性の開発と個性の発揮」のもと、これからの学校生活が実り多いものとなることを心より祈念いたします。

PTA後援部は、生徒がより快適で充実した学校生活を送れるよう、施設・設備および教育用備品の整備を中長期的な視点で支援しています。活動資金は保護者の皆様からの年度会費であり、この大切な資金を「効率的・無駄なく・有意義に」活用することを基本方針として、年6回の後援部会で慎重に審議を行っています。

主な活動は、学校からの支援依頼に対する審議と、増穂祭での後援部カフェ運営です。カフェでは毎年好評の校長先生似顔絵クッキーや飲料販売に加え、支援実績を紹介する動画やポスターを掲示し、今後の支援へのご意見を伺うアンケートも実施しています。昨年度は834件もの回答をいただき、後援部で全てに目を通し、定量・定性的に分析したうえで学校側と共有しました。その結果、小体育館へのエアコン増設(2台)や自習室の椅子更新など、具体的な支援につなげることができました。

そのほか、校舎への遮熱フィルム貼付、ベトナムFTP高校との連携事業補助、人工芝メンテナンス機器購入、吹奏楽部楽器修理、茶道部毛氈購入、図書返却ボックス「ポストら」導入、水球部デジタイマー購入など、生徒の活動を幅広く後援してきました。

今年度も、生徒の皆様の学習環境向上のため、学校と連携しながら部員一同で支援を検討してまいります。ただし、後援部のみでは気づけない点もごございます。教職員・生徒・保護者のみなさまの中で、お困りごとやご相談がありましたら、ぜひ後援部員へお声がけください。引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

SSH 指定第Ⅲ期3年目がスタートしました

SSH 統括室

本校は、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）第Ⅲ期指定の3年目を迎え、科学的探究を通して生徒が社会とつながる視点を養う教育を、さらに発展させてまいります。

第Ⅲ期では、全生徒が「課題研究」に取り組むことが大きな特徴です。自ら問いを立て、検証する過程を通して、課題発見力や解決力、自律的に学びに向かう姿勢を育てています。こうした学びを支えるため、教員集団としても通常授業の質の向上を図り、探究的な資質・能力を育む授業を展開するとともに、11月の公開研究授業では、その成果を広く発信してまいります。

また、大学や企業、海外と連携した学校外のプログラムも充実しており、教室の枠を越えた実践的な学びは、生徒の進路選択にも大きな影響を与えています。

本校が育成を目指す「SS コンピテンシー」においては、知識の習得だけでなく、主体性や協働する姿勢も重視し、「生徒が何を身につけたか」を多角的に捉える評価手法の開発にも取り組んでいます。

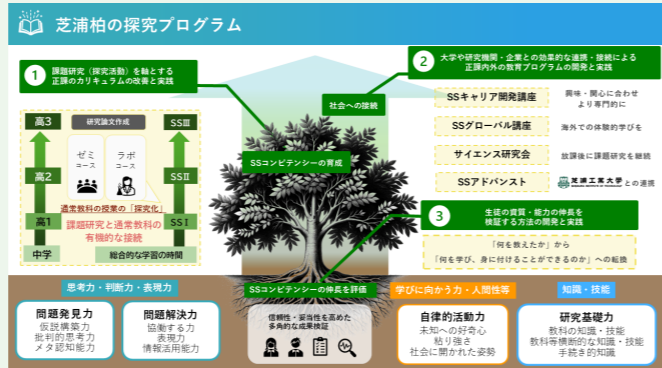
今年度も、こうした探究の取組を一層深化させ、生徒の可能性を広げる環境づくりを進めてまいります。生徒の皆さんには、自身の興味・関心を大切にしながら新たな挑戦を重ねてほしいと願っております。また、保護者の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

生徒が参加する発表会や外部コンテスト

探究活動の成果を広く発信する場として、さまざまな発表機会を設けています。校内での中間・最終発表会はもちろん、他校との合同発表会、外部コンテストやシンポジウムにも積極的に参加しています。

○昨年度の参加実績（一部抜粋）

実施月	取組内容
4月	15th SciUS Forum
8月	課題研究交流会（福岡県立鞍手高等学校）
8月	令和7年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会
9月	課題研究オンライン交流会（茨城県立竹園高等学校）
9月	第69回全国学芸サイエンスコンクール
9月	千葉大学主催 第19回高校生理科学研究発表会
10月	WWL高校生国際会議 2025
11月	第1回エコチル調査全国フォーラム
11月	高校化学グランドコンテスト 2025 最終選考会
12月	日本古生物学会 第175回例会 高校生ポスター発表
12月	東京科学大学 第18回高校生バイオコン 2025
12月	課題研究オンライン交流会（清真学園高等学校）
1月	探Q発表会（茨城県立竹園高等学校主催）
1月	探究フェスティバル（昭和学院中高主催）
2月	第11回 高校生国際シンポジウム
3月	化学工学会関東支部若手の会「高校生向け探究発表会 2026」
3月	第73回日本生態学会大会 ジュニアポスターの部
3月	第1回新潟医療福祉大学リサーチフェスタ
3月	千葉県高等学校課題研究発表会
3月	関東近県 SSH 指定校合同発表会



SS キャリア開発講座

本校では、SSHの枠組みの中で「SS キャリア開発講座」を開講し、探究と進路との接続を図る取組を行っています。この講座では、科学・技術・工学・数学等の分野に関連する職業や研究を実際に行っている専門家をお招きし、講話やワークショップを通じて、生徒が将来のキャリアを具体的にイメージできるよう支援しています。時間割の枠にとどまらない学びを提供するため、今年度も多くの企画を実施予定です。

○昨年度の実施内容（一部抜粋）

実施月	取組内容
4月	GFEST（筑波大学）説明会
4月	ASCENT-6E（千葉大学）説明会
6月	芝浦工大デザイン工学部 研究室見学
6月	Double EX Project（万博見学）
6月	サドヤワイナリー・農場高大連携実習
6月	芝柏哲学講座－「生き方」編一
6月	メンター進路講演会
7月	学部別進路講演会
7月	文理選択相談会
7月	ビジネスアイデア創出ワークショップ
7月	文理選択相談会
7月	LEGO® SERIOUS PLAY® メソッドと教材を活用したワークショップ
7月	化学グランプリ二次試験の実験を体験するワークショップ
7月	PTA 仕事塾
7月	ちょい足し建築①
8月	福井県立大学夏の恐竜探究研修
8月	ちょい足し建築②
8月	テスラミッション 2025
8月	ビジネスモデルキャンパスワークショップ
10月	芝浦ビジネスモデルコンペティション（SBMC）
10月	工学系理系女子育成交流会
10月	ロボットコンテストの勧め
10月	リベラルアーツ哲学講座①
11月	中学生・高校生のためのSBMC Junior ビジネスモデル発表会・交流会
11月	千葉県高等学校生徒歴史研究発表大会
11月	早稲田大学創造理工学部模擬講義
12月	2025 Creative Lab #01
12月	化学オリンピック実験講座
12月	SBMC Junior 先進地域視察
12月	高校生がやってみた！アントレプレナーシッププログラム成果報告会
12月	東京大学 FS CREATION 実験講座
2月	PTA 仕事塾
2月	PCR 法実験講座
2月	リベラルアーツ哲学講座②
2月	社会課題について対話する1DAY イベント
2月	高校生ビブリオバトル

北欧建築を求めて訪れたアイスランド
高校3年5組

私は北欧の建築に興味を持ち、より詳しく知りたいと思い、参加しました。事前学習では、北欧の建築には短い日照時間を補うための大きな窓や、雪が屋根に積もりにくい三角屋根が多く採用されているということを学びました。実際に到着して最初に驚いたのは、強い風と冷たい空気、そして一面に広がる雪でした。空港周辺には建物がほとんどなく、首都レイキャビクに着くまで街らしい場所はありませんでした。けれど市内に入ると、大きな窓にカラフルな外観、綺麗な三角屋根を持つ建物がしっかりと出迎えてくれました。雪の中のその街並みは美しく、散策はとても楽しかったです。海外に行く楽しさとは、実際に体験できるワクワクとその新鮮さだなと思いました。



TOPICS

事務室
カフェテリアの改修完了

事務長

老朽化していたカフェテリアの改修が完了しました。今回の改修では、「学校の中にサードプレイスを」という生徒会の提案も参考に、可能な限り従来の座席数を維持しつつ、落ち着いたカフェ空間をイメージして整備しています。

内装は、温かみのある木目調の家具と、壁面の落ち着いたグリーンを基調としたモダンなデザインとしました。空間の象徴となる植栽付きのビッグテーブルをはじめ、集中して自習ができる1～2人席、友人と一緒に食事や勉強ができるBOX席など、用途に応じた多様な座席を計216席用意しています。また、金券の購入から受け取りまでの動線も見直し、混雑時でもスムーズに利用できるよう工夫しました。

食事の場としてだけでなく、放課後の「ノマド学習」や気分転換の場としても、生徒の皆さんが和やかに、そして集中して過ごせる新たな学びの拠点となることを期待しています。

アイスランドの文化
高校2年5組

私は事前学習を通して、アイスランドはジェンダーギャップ指数が世界で1位であり、男女格差が非常に少なく、多様な価値観が尊重されている国であることを知りました。実際に街を歩いてみると、公衆トイレが男女共用であることに気づき、その価値観が日常生活にまで反映されていると感じました。

また、博物館を訪れた際には、アイスランドがもともと多神教を信仰しており、その宗教観が日本の信仰と近いものであることが分かりました。多神教の神々は、性別や形態が様ではなく、さまざまな姿で描かれています。

さらに、アイスランドの神話は、ゲームをはじめとしたさまざまなコンテンツにも取り上げられており、現在も世界中に影響を与えています。

このような多様性を受け入れる文化的背景に加え、寒冷な気候の中で人々が互いに助け合い、一致団結して生きていく必要があったということが、アイスランドにおけるジェンダー平等の実現につながったのではないかと考えました。



教会の扉だったもの。騎士がドラゴンを倒す様子などの神話が記されている。

「壁のない国際交流」
高校1年3組

アイスランド研修で私が体験した中で寒さや絶景よりも深く感銘を受けたのは、「出身国・国籍による心の壁が無い」という感動でした。

この研修の魅力としては、単なる観光ではなく現地校の生徒や世界各国から集まった留学生と対等に語り合っただけでなく、交流出来る点が最も大きいと感じました。

研修中、現地校で勇気を出してアイスランド語で話しかけた相手が、実は日本からの留学生だったという事もありました。しかし、結果がどうであれ「勇気を出して日本語以外で話しかけた」という経験こそが大切だと私は思います。

現に、私は現地校のアイスランド人の生徒と仲良くなり、一緒に出かけた後、今もインスタグラムで交流を続けています。

象徴的だったエピソードは、路上で突如始まった知らない人達との雪合戦です。互いの出身国も、名前も知らないまま英語で声を掛け合い、笑いながら雪を投げ合う。そこには何の隔りもなく、「今この瞬間を楽しむ」という純粋な繋がりがありました。英語さえ話せば、世界のどこから来た人とも仲良くなれるという事が実感できたのは素晴らしい体験でした。



吹奏楽部
定期演奏会ご案内

5月3日（日）柏市民文化会館にて吹奏楽部の第39回定期演奏会を開催します。中高生とOBOGの総勢約100名で作り出す迫力あるサウンドです。是非ご来場ください。

開場 14時30分、開演 15時。

曲目は、「カーペンターズフォーエバー」「ブルーリッジの伝説」「怪獣」「すずめの戸締り」「ランドスケープ」「はよよ行進曲」他です。

芝浦工業大学柏中学高等学校
吹奏楽部

第39回 定期演奏会
柏市民文化会館 大ホール
2026年 5月3日（日・祝）

開演 14:30
開演 15:00

入場無料・全席自由

お問い合わせ先：芝浦工業大学柏中学高等学校
TEL. 04774-3100

■ ■ 中学校 25 期生 卒業式 ■ ■



答辞（抄録）

3年D組

城址公園の木々に新たな芽吹きが見え、春の訪れを感じる季節となりました。

協力して何かをつくり上げる楽しさ、達成感を、この芝柏で学びました。こうした三年間を過ごすことができたのは、先生方や仲間達、そして家族のおかげです。

中学一年生の時の私は真面目な生徒とはいえませんでした。担任の先生は私に言いました。「お前、どうせもっとできるだろ」。自分で考えていた限界は、本当の限界ではないのだと気付かされました。

中学二年生の時、友達同士が言い争いになりました。担任の先生が仲裁に入り、指摘しながら状況を整理し、その場を収めました。相手を思いやる誠実さと、配慮のバランスが重要なのだと、気付かされました。

中学三年生の時、最後のお別れ会で先生が泣いていたのです。

それだけ私達を大切に思ってくださったからだと感じました。先生の私達への愛情に気づきました。

中学三年間を通して、周囲を見る力があり、生徒一人一人を理解して、その人にあったアドバイスを与えることができる、そんな先生方からあるべき大人の姿を学びました。

同級生へ。最も長い時間をともに過ごしてきました。この学年で、この仲間と出会えてとても幸せでした。改めて、三年間ありがとう。

そして、家族へ。いつもありがとう。幼い頃、母がなぜ「いってらっしゃい」と言うのか教えてくれました。後悔のないように、きちんと送り出したいのだと話してくれました。

私達は今、新たな一歩を踏み出そうとしています。不安もありますが、それ以上に未来への期待があります。この芝柏で学んだこと、出会った人、積み重ねてきた経験を胸に、私達はそれぞれの道を、自分の足で歩いていきます。

■ ■ 2026 年度 入学式 ■ ■



高 校

中 学